

株式会社 アイネット と株主さまを結ぶコミュニケーション誌

# 株主通信

**inet** 証券コード  
9600

第53期  
第2四半期

2023年4月1日～  
2023年9月30日

## 中期経営計画の重点強化ポイント

サービス展開モデルにおける  
事業ポートフォリオの適切な運営、  
企業価値の向上

関連する  
SDGs




## ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第53期 第2四半期株主通信をお届けするにあたり、謹んでごあいさつ申し上げます。


売上高

18,979 百万円

前年同期比  
12.9% 増 


営業利益

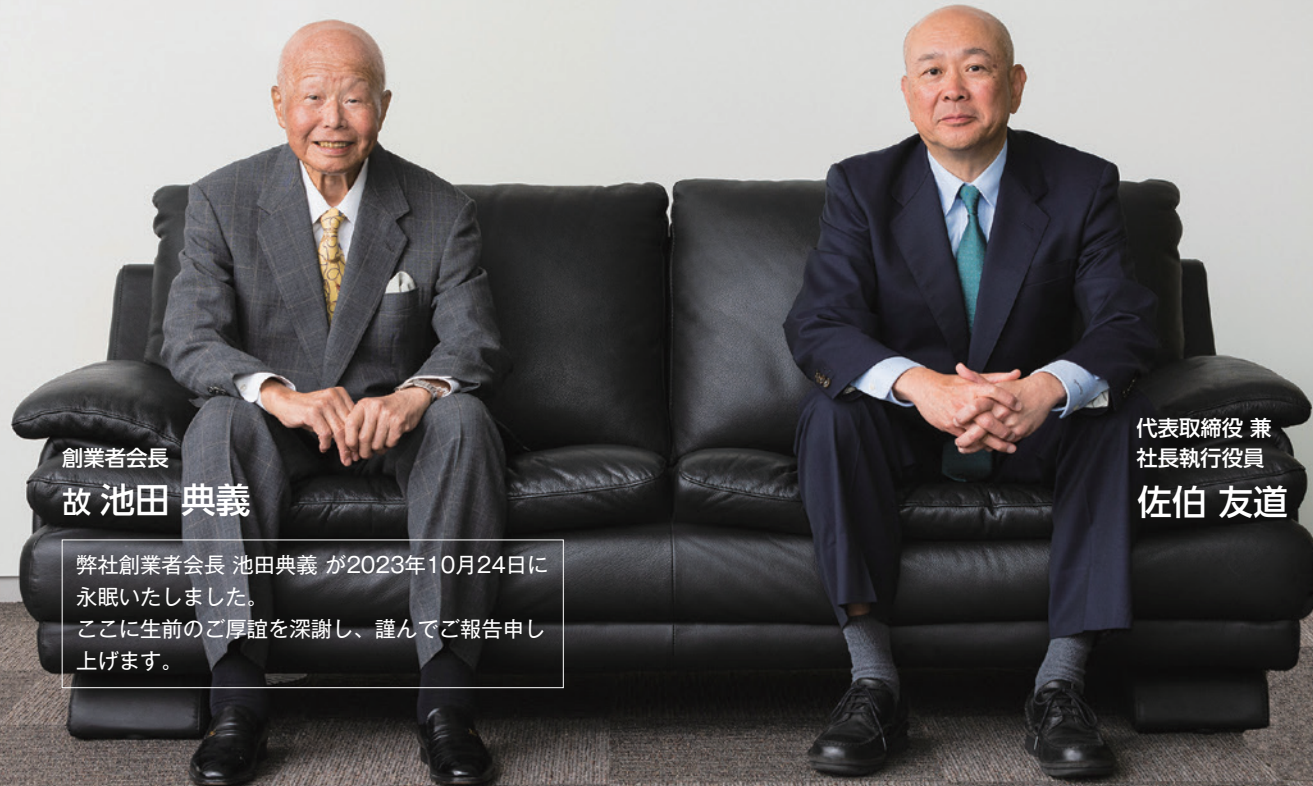
1,575 百万円

前年同期比  
48.7% 増 

親会社株主に帰属する  
四半期純利益

1,041 百万円

前年同期比  
60.7% 増 



創業者会長  
故 池田 典義

弊社創業者会長 池田典義 が2023年10月24日に永眠いたしました。ここに生前のご厚誼を深謝し、謹んでご報告申し上げます。

代表取締役 兼  
社長執行役員  
佐伯 友道

## 第53期 第2四半期のご報告

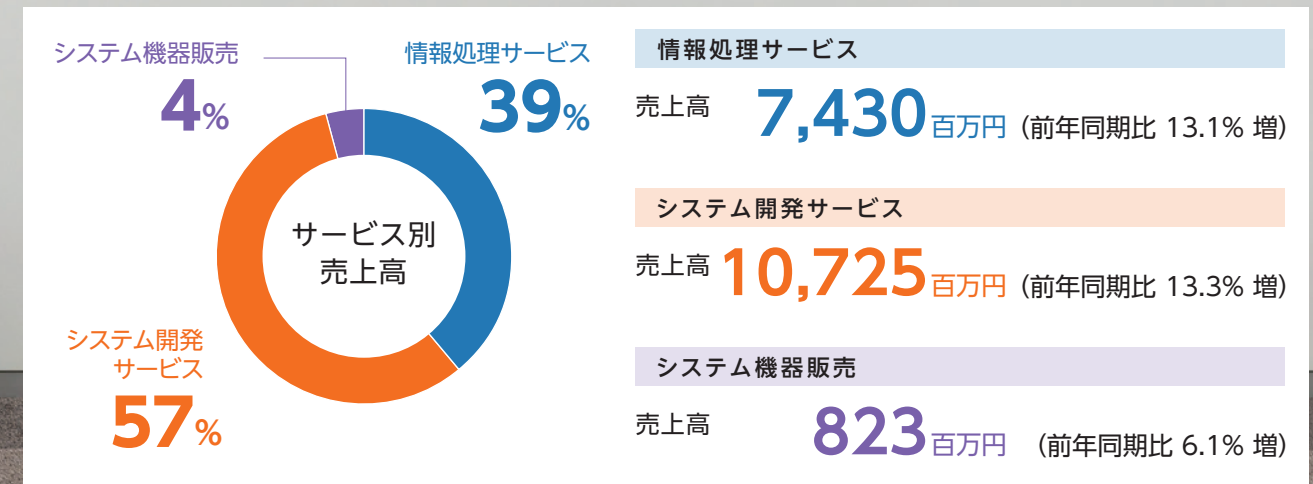
1971年の創立以来、お客さまの利便性を追求したサービスの創造に努めてまいりました。今後も更に成長を続ける企業であり続けるために、常に時代や時流を鑑みながら自ら変化し、より一層の努力を続けてまいり所存です。

2024年3月期第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は18,979百万円(前年同期比12.9%増)、営業利益1,575百万円(同48.7%増)、経常利益1,601百万円(同49.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,041百万円(同60.7%増)となりました。

売上高は、クラウドサービスやサービスステーション(SS、ガソリンスタンド)向けに受託計算等を提供してい

る情報処理サービスが好調に推移した上、金融業向けシステム開発案件の売上が想定以上に順調だったことにより、前年同期比増収となりました。営業利益につきましては、高止まりしている電気料金等の影響により原価高が続いておりますが、データセンター向けに省エネ投資等を行うことで損益への影響を低減させ、また好調な売上に伴う増収効果により、前年同期を大きく上回りました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比で増益を確保することができました。

株主の皆さまにおかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。





# 連結財務諸表の概要

(単位:百万円)

損益の概要	前 第2四半期連結累計期間 (2022/4/1～2022/9/30)	当 第2四半期連結累計期間 (2023/4/1～2023/9/30)	増減額
売上高	16,808	18,979	ポイント1 2,171
売上総利益	3,530	4,230	700
営業利益	1,059	1,575	ポイント2 516
経常利益	1,074	1,601	526
親会社株主に帰属する四半期純利益	648	1,041	393

(単位:百万円)

資産・負債の概要	前期末 (2023/3/31時点)	当 第2四半期末 (2023/9/30現在)	増減額
流動資産	10,246	12,112	ポイント3 1,866
固定資産	22,384	23,240	ポイント4 856
流動負債	9,294	11,862	2,567
固定負債	5,753	4,747	△1,006
純資産	17,581	18,743	1,161
総資産	32,630	35,352	2,722

(単位:百万円)

キャッシュ・フローの概要	前 第2四半期連結累計期間 (2022/4/1～2022/9/30)	当 第2四半期連結累計期間 (2023/4/1～2023/9/30)	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,158	3,717	2,559
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,163	ポイント5 △1,207	△44
財務活動によるキャッシュ・フロー	△191	△1,082	△890
現金および現金同等物の期首残高	3,684	2,310	△1,374
現金および現金同等物の四半期末残高	3,487	3,738	250

## 決算数値のポイント

**ポイント1** 情報処理サービスが好調に推移した上、金融業向けシステム開発案件の売上が想定以上に順調だったことにより、2,171百万円の増収となりました。

**ポイント2** データセンター向けに省エネ投資等を行うことで損益への影響を低減させたこと、および好調な売上に伴う増収効果により、前年同期比で516百万円の増益となりました。

**ポイント3** 現金および預金、受取手形、売掛金および契約資産等の増加により、1,866百万円の増加となりました。

**ポイント4** 有形固定資産が68百万円減少したものの、ソフトウェア資産が216百万円増加、投資有価証券の評価が716百万円増加したこと等により、856百万円の増加となりました。

### ポイント5 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動が好調に推移した結果、当第2四半期連結累計期間の純利益が増加したことにより前年同期比大幅増となりました。

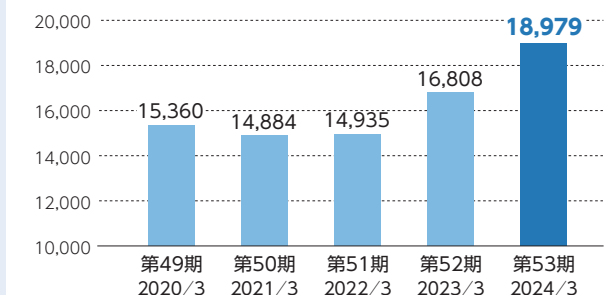
### 投資活動によるキャッシュ・フロー

データセンターの設備増強、自社サービス開発等により、1,207百万円の支出となりました。

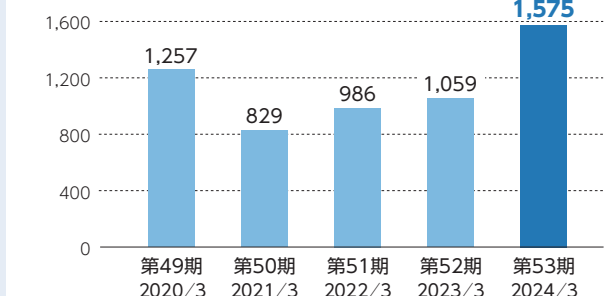
### 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の返済1,657百万円、配当金の支払い383百万円等により、1,082百万円の支出となりました。

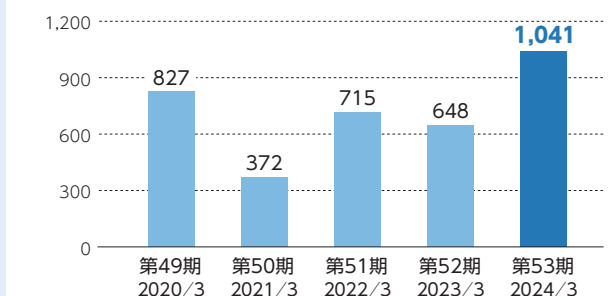
## 売上高



## 営業利益



## 親会社株主に帰属する四半期純利益

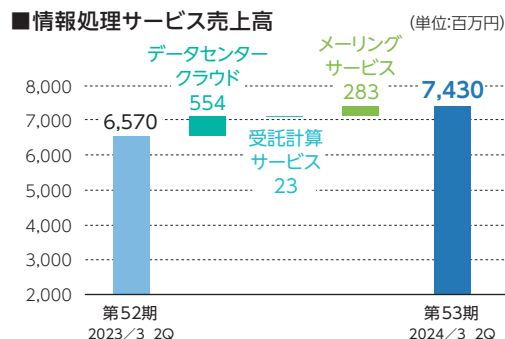


# サービス別概況



## データセンターサービス、クラウドサービスの利用増加およびBPOサービスが好調

「情報処理サービス」社会全体のシステム化の進展に伴い、データセンターサービス、クラウドサービスの利用が着実に増加していることに加えて、メーリングを中心としたBPOサービスが好調であったことから、情報処理サービス全体で、好調に推移しました。以上の結果、売上高は7,430百万円(前年同期比13.1%増)となりました。

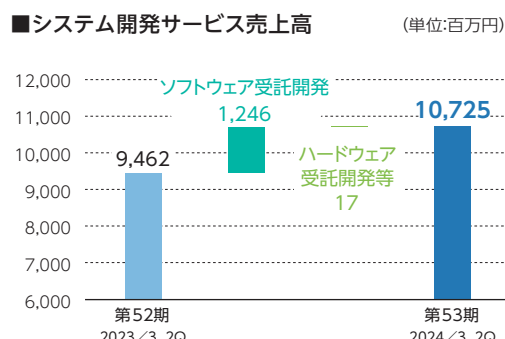


**サービスについて** データセンターサービス、クラウドサービス、サービスステーションの受託計算/決済処理、プリント・メーリング、ビジネス・プロセス・アウトソーシング(BPO)/コールセンターの業務等、お客様のシステムやデータをお預かりし、運用、処理、加工するサービスです。



## 案件の増加や運用保守ビジネスの拡大およびグループ会社2社の業績も好調に推移

金融業や流通業向けのシステム開発案件が、引き続き順調に増加していることに加えて、2023年10月より始まったインボイス制度対応の開発案件が増加しました。また、大手顧客から受託する運用保守ビジネスが安定収益として拡大し、システム開発を行っているグループ会社2社の業績も好調に推移しました。以上の結果、売上高は、10,725百万円(前年同期比13.3%増)となりました。



**サービスについて** お客様のニーズに合わせて、システム開発、アプリケーション開発はもちろんのこと、要件定義・設計から開発・運用まで、様々な業種・業態のお客様の異なるご相談に柔軟に対応しています。豊富な実績から培ったノウハウでお客様に最適なお提案をいたします。

※内訳と合計金額は、四捨五入の関係で一致しないことがあります。

中期経営計画[2022年4月~2025年3月]

# 伸ばし、増やす 事業戦略

社会が如何に変わろうとも、アイネットグループは変化に合わせた形で、プラットフォーム上のサービス・パートナーを伸ばし、増やすことで更なる成長を目指します。時代の変化に合わせた多彩なサービスやパートナーを取り込み、戦略的な出資や提携、スタートアップ企業への支援、連携等も進めていきます。



伸ばし、増やすための3つの施策

### 開発システムのサービス化

2025年3月期までには、SaaS型無担保ローンシステムの展開、新しい技術のサービス化のため、戦略的な提携を目指します。

### 戦略的協業の強化

新ビジネス・技術を持つ企業との提携、パートナー企業サービスの事業展開支援、事業シナジー効果を期待したM&Aを活用し、協業パートナーへの戦略出資を行います。

### 新規事業の取り組み

自社リソースを活用した新規ビジネスの展開、新ビジネス・技術を持つ企業との資本提携・買収、他社サービスの展開、取り組みを目的とした業務提携を行います。



## ダークトレース社が選ぶ「2023 Darktrace Partner of the Year (Japan)」を受賞

弊社はAIサイバーセキュリティのグローバルリーダー企業であるDarktrace Holdings Limitedと2022年7月21日に販売代理店契約を締結し、1年間で同社のAIサイバーセキュリティ製品を15社に導入しました。その実績を評価され、日本国内で最も優れた功績を収めた販売代理店に贈られる「2023 Darktrace Partner of the Year (Japan)」を受賞しました。独自の自己学習型AI技術を活用したネットワーク上における、あらゆる脅威の検知・調査・遮断を1つのプラットフォーム上で自律的に行う『Darktrace』を販売することで、引き続き、企業のセキュリティ対策を支援してまいります。



## 2050年度までにカーボンニュートラルを実現 ～自社データセンターに 再生可能エネルギー由来の電力を導入～

アイネットグループは、地球環境問題への真摯な取り組みの一環として、2050年度までに、アイネットグループのバリューチェーン全体における温室効果ガス排出量ゼロの実現を目指します。併せて、気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)提言への賛同を表明し、TCFD提言に賛同している企業等が議論する場のTCFDコンソーシアムに参画しております。2030年度までに弊社のデータセンターで使用する電力の一部を再生可能エネルギー由来のものに切り替えます。この取り組みにより、アイネットグループによる温室効果ガスの排出量(Scope1,2相当)を2022年度対比で33.6%以上の削減を実現する見込みです。



## 横浜国立大学とのデータサイエンス・ インターンシップ・プログラムを実施

弊社は2019年12月10日に横浜国立大学と「包括連携協定」を締結し、以降共同研究や人材の交流等、多面的な連携関係を構築してきました。IT企業としての技術やインフラ、人材、および横浜市、神奈川県等に多数のお客さまとの接点を持つ強みと、横浜国立大学の21世紀グローバル新時代に活躍する人材の育成力を融合し、社会貢献を推進することを目的としています。また、2回目となる2023年度もデータサイエンス・インターンシップとして横浜国立大学経営学部のデータサイエンス教育プログラムに属する学生を受け入れ、更なる包括連携の関係を深めていきます。



## 横浜エクセレンスが行う地域貢献活動 「EX Community Project」に賛同

プロバスケットボールクラブB3「横浜エクセレンス」の地域社会に対する姿勢に共感し「EX Community Project」に賛同し、サポートを始めました。この取り組みをより多くの人々に広め、横浜エクセレンスが地域社会に与えるポジティブな影響に期待をしています。

「EX Community Project」では、以下の活動が展開されています。

### 学校訪問

横浜市内の学校を訪れ、バスケットボールを通じて健康的なライフスタイルを子供たちに啓発。

### バスケットボールクリニック

バスケットボール愛好者向けのクリニックを開催し、スキル向上をサポート。

### 地域イベントへの参加

地域のイベントや行事に積極的に参加し、地域社会との結びつきを強化。



## 株式会社ソフトウェアコントロール創立45周年

グループ会社の株式会社ソフトウェアコントロールが2023年4月1日に創立45周年を迎えました。同社は長年培ってきた業務ノウハウと情報処理技術を駆使して、ITコンサルテーションからメンテナンスまで幅広いサービスを提供しています。今後もアイネットグループとして時代や時流を鑑みながら自ら変化し、成長を続けてまいります。



## 仕事と育児の両立に高い水準で取り組む企業として 「プラチナくるみん」認定を取得

仕事と育児の両立に向けて高い水準の取り組みを行う「子育てサポート企業」として評価され、厚生労働大臣より「プラチナくるみん」の認定を受けました。「ワークライフバランスの向上」と「仕事と育児の両立」を更に推進し、社員一人ひとりが輝く環境づくりを行ってまいります。



# 社会貢献

アイネットグループの主な社会貢献活動をご報告いたします。

## 「公益財団法人アイネット地域振興財団」を通じて地域貢献

2019年3月1日、創業者池田典義が出資する一般財団法人としてスタート、その後アイネットも出資参加し、更に2020年1月10日には神奈川県より公益認定を取得しました。貧困対策、地球環境対策等への活動を行うNPO団体等の活動を支援・助成する事業を通じて地域社会の発展に貢献しております。



URL <https://www.inet-found.or.jp/>

実績	
2023年度	29団体／816万円助成
2022年度	27団体／717万円助成
2021年度	22団体／640万円助成

## 障がいのある方の「自立・成長・自律」を支援する「株式会社アイネット・データサービス」

2009年4月1日、障がい者雇用の促進を目的に特例子会社の株式会社アイネット・データサービスを設立しました。特例子会社は、全国に579社、神奈川県には49社(2022年6月1日時点)あり、同社はその中の1社です。業務は、データ入力や軽作業、全員が正社員雇用というのが大きな特長です。同社は神奈川県からの信頼、認知度が高まっており、今年度は神奈川県内の教育委員会からの依頼で、新任副校長等の職場研修を受け入れました。ご家族の方にも安心していただけるよう、長く働ける場所を提供し、障がいのある方が「自立・成長・自律」できるよう支援を続けております。



## 保育施設検索サイト「働くママ応援し隊」を運営

2017年のサービス開始以来、横浜市が発信するオープンデータに加えて、より詳細な情報を独自で収集し、充実した情報発信、検索の利便性向上を図ってまいりました。保護者にとって「わかりやすい」「検索しやすい」「多くの情報が掲載されている」サイトです。引き続き、子育て支援や女性活躍推進につながる取り組みを行ってまいります。



URL <https://kosodate.inet.co.jp/>

# 会社の概況 (2023年4月1日現在)

商号 株式会社アイネット/I-NET Corp.  
 上場金融商品取扱所 東京証券取引所プライム市場(9600)  
 本社 横浜市西区みなとみらい三丁目3番1号  
 電話番号 (045)682-0800(代表)  
 URL [www.inet.co.jp/](http://www.inet.co.jp/)  
 設立 1971年4月22日  
 資本金 3,203,992,690円  
 従業員数 1,774名(連結)／1,021名(単独)  
 事業内容 情報処理サービス  
 システム開発サービス  
 システム機器販売

役員等 (2023年10月1日現在)  
 創業者会長 池田 典義  
 代表取締役社長執行役員 佐伯 友道  
 代表取締役専務執行役員 内田 直克  
 取締役相談役 坂井 満  
 取締役常務執行役員 今井 克幸  
 社外取締役 竹之内 幸子  
 社外取締役 北川 博美  
 社外取締役 黒川 雅夫  
 社外取締役(常勤監査等委員) 市川 裕介  
 社外取締役(監査等委員) 坪谷 哲郎  
 社外取締役(監査等委員) 鈴木 紀子  
 上席執行役員 小山 真一  
 執行役員 伊藤 美樹雄  
 執行役員 川崎 克己  
 執行役員 志村 正之  
 執行役員 坂本 博義  
 執行役員 平江 敬三  
 執行役員 近藤 博之  
 執行役員 根岸 秀尚  
 執行役員 石橋 丈二  
 執行役員 志賀 雅博  
 執行役員 江馬 敏  
 執行役員 御法川 直孝

## グループ会社

株式会社ISTソフトウェア  
[www.ist-software.co.jp/](http://www.ist-software.co.jp/)  
 資本金 100百万円  
 事業内容 情報処理サービス  
 システム開発サービス  
 システム機器販売

株式会社ソフトウェアコントロール  
[www.scnet.co.jp/](http://www.scnet.co.jp/)  
 資本金 54百万円  
 事業内容 システム開発サービス

株式会社アイネット・データサービス(特例子会社)  
[www.inet-d.co.jp/](http://www.inet-d.co.jp/)  
 資本金 9百万円  
 事業内容 情報処理サービス

株式会社ENEOSデジネット(持分法適用会社)  
 資本金 10百万円  
 事業内容 情報処理サービス

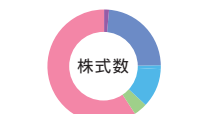
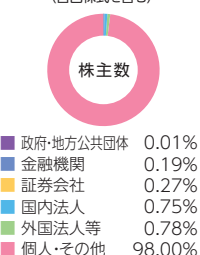
# 株式の状況 (2023年9月30日現在)

株主数 10,154名  
 発行可能株式総数 60,000,000株  
 発行済株式の総数 16,242,424株

## 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)※
池田 典義	1,620,379	10.14
アイネット従業員持株会	1,463,756	9.16
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,311,900	8.21
株式会社日本カスタディ銀行(信託口)	970,400	6.07
株式会社横浜銀行(常任代理人株式会社日本カスタディ銀行)	707,300	4.42
北川 康浩	421,330	2.64
有限会社エヌ・アンド・アイ	316,778	1.98
日本生命保険相互会社(常任代理人日本スタートラスト信託銀行株式会社)	275,000	1.72
公益財団法人アイネット地域振興財団	250,000	1.56
関東財務局	240,700	1.51

## 所有者別構成比 (自己株式を含む)



※持株比率について…自己株式を257,584株保有しておりますが、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

# IRカレンダー

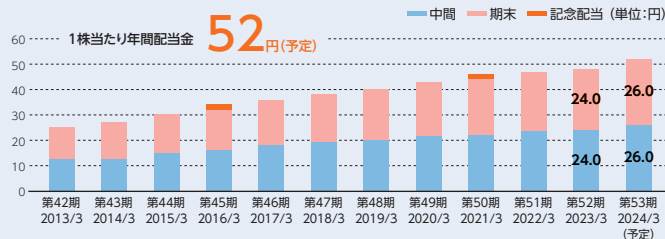
2023年12月上旬	2024年3月期第2四半期株主通信発送 中間配当金支払い
2024年1月下旬	2024年3月期第3四半期決算発表
3月31日	期末配当金の基準日 定時株主総会基準日
5月上旬	2024年3月期決算発表
中旬	2024年3月期決算説明会
6月上旬	定時株主総会招集通知発送
下旬	第53回定時株主総会 決議通知書、株主通信発送 期末配当金支払い
7月下旬	2025年3月期第1四半期決算発表
9月30日	中間配当金の基準日 株主優待権利確定日
10月下旬	2025年3月期第2四半期決算発表
11月上旬	2025年3月期第2四半期決算説明会



## 配当金

### 1株当たり年間配当金52円(予定)

前期の48円(中間配当24円、期末配当24円)を上回る52円(中間配当26円、期末配当26円)とし、12期連続の増配を予定しております。



## 株主優待制度

株主の皆さまからのご支援に対する感謝の気持ちをお伝えすることを目的に、株主優待制度を導入しております。

### ■ 対象株主さま

9月末日時点で100株以上保有いただいている株主さま。

### ■ 優待内容

所有株式に応じてQUOカードPayまたは弊社オリジナルのQUOカードを年1回(12月上旬)お届けいたします。

### ■ 社会への貢献

贈呈額の10%を別途、弊社より社会貢献活動団体等に寄付をさせていただきます。

所有株式数	優待内容
100株以上500株未満	… QUOカードPay 500円分
500株以上1,000株未満	… QUOカードPay 1,000円分
1,000株以上3,000株未満	… QUOカード 2,000円分
3,000株以上5,000株未満	… QUOカード 3,000円分
5,000株以上	… QUOカード 4,000円分

※QUOカードPayとは、アプリや登録不要すぐに使えるデジタルギフトです。  
詳細はURLをご覧ください。 <https://www.quocard.com/pay/>  
・QUOカードPayには発行日より3年間の有効期限がございます。  
・QUOカードPayはスマートフォン以外の携帯電話およびタブレットではご利用できません。  
※QUOカード、QUOカードPay、およびそれらのロゴは、株式会社アイネットの登録商標です。



## 株式メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日  
定時株主総会 毎年6月  
基準日 定時株主総会・期末配当 3月31日 / 中間配当 9月30日  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)  
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)  
上場証券取引所 東京証券取引所  
公告の方法 電子公告により行います。  
公告掲載URL [www.inet.co.jp/ir/stock.html/](http://www.inet.co.jp/ir/stock.html/)  
(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた際には、日本経済新聞に公告いたします。)

### 【ご注意】

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



### IRメールを配信しています

ご登録いただいた方に、最新の決算関連情報やニュースリリース等IR関連情報をメールにてお届けします。登録は無料ですので、ぜひご登録ください。

詳しくはこちら

